

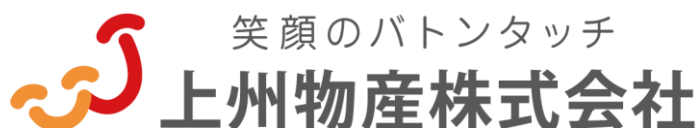
# 〈10kg 以下ガスボンベ〉 パラソルパティオヒーター【パティオ君】 取扱説明書



## 目次

- ・メーカー取扱説明書
- ・組立方
- ・点火方法
- ・梱包手順

ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店



〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

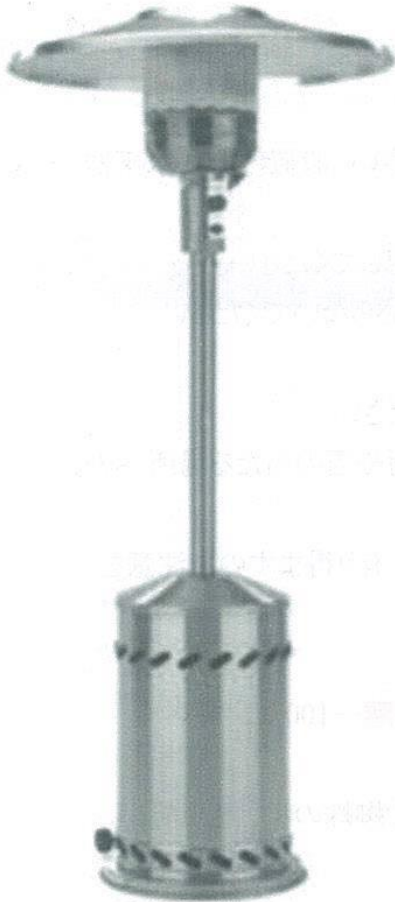
ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店ホームページへアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



# パティオヒーター

## SPH1305

### 取扱説明書



#### 警告

もし誤った取扱いをされた場合には大変危険を及ぼしますので、この製品の使用者及び管理者の方は、この取扱説明の内容をじゅうぶん理解し、厳守してください。記載事項を守られない場合は、身体の怪我や製品の破損を及ぼします。

#### 注意

- この製品とガスボンベの接続及び交換は、必ず資格を持つガス供給業者にご依頼ください。
- この製品の近くで、ガソリンなどの可燃性液体やガスの保管・使用・漏れが無いことをご確認ください。
- この製品を使用されないで保管されるときには必ずガスボンベは外してください。

#### もしもガスの臭いを感じたら

- ガスボンベの元栓を閉めて、他の使用製品の全ての火を消してください。
- この製品の近くで、どのような電気製品もご使用なさないでください。
- ご使用設置場所の換気をおこなってからガス漏れの原因を調べてください。

**この製品は屋外でのみご使用下さい。**

**製品の組立ては、この説明書に従いじゅうぶんご注意願います。**

**この取扱説明書は保存して下さい。**

# — 目次 —

安全にご使用頂くために	1
各部の名称	2
パティオヒーターの組立方	3
設置の仕方	9
商用・公共利用での操作	9
点火日の操作	10
消火の操作	10
トラブルシューティング	11
点火方法	12
ガスに火がつかない場合は？	13
パティオヒーターの梱包方法	14
梱包時 PP バンドの使用方法	20

## 安全にご使用いただくために

この製品は屋外でのみご使用いただけます。

誤った取扱い・ご使用は、怪我や死または物的損害を引き起こしますのでご使用前にこの説明書を必ずお読みください。

- この製品に使用する燃料は、必ずプロパンガスをご使用ください。
- 可燃物または可燃性液体や可燃性気体の有る近くではご使用なさないで下さい。
- ご使用前に、お買上げ製品の部品(燃焼バーナーなど)に損傷がないかご確認ください。
- この製品を動かす場合には、必ずボンベの元栓を閉めて下さい。
- 部品の位置を変える等、いかなる改造も行わないで下さい。
- この製品は地盤のしっかりとした平らな場所に設置してください。設置の際に水平器などを使用して製品に傾きがないかご確認ください。
- 屋外使用にあたり、常に新鮮な空気の換気があることを確認してください。
- 引火性の有るまたは腐食性を及ぼすクリーナーはご使用なさないでください。
- 本体及びリフレクターに塗装はなさないで下さい。
- 製品をご使用なさない時には必ずガスの元栓を閉じてください。
- 雨や雪の当たる場所ではご使用なさないで下さい。また雨や雪の当たる場所への長時間の放置はなさないで下さい。
- お子様が近寄って製品を叩いたり、寄り掛かったりすることも有り得ますので注意を呼びかけてください。
- 可燃性の壁・天井からの距離は必ずお守りください。

壁からの最低距離--100センチ 天井からの最低距離--100センチ

- 少なくとも1年に1回はバーナースクリーンを取り外し、蜘蛛や蜘蛛の巣、昆虫等が入っていない事を確認してください。
- 次のような場合には直ぐに製品をチェックしてください。
  - 1.ガスの臭いがする。
  - 2.ヒーターが温度に達しない。
  - 3.燃焼中にポンとはじける音がする。(消火したときの音は異常ではありません。)
- におい・スス・炎の色等異常を感じた時は、直ちガスの元栓を閉め、ご使用を中止してください。
- 製品上部のバーナーおよびリフレクターは大変高温になっていますので、ご使用される方は周囲に注意を呼びかけてください。

- 小さなお子様が製品の近くにいる時には、特に監督してください。
- 布切れや可燃性の物をヒーターに掛けないで下さい。また近くに置かないで下さい。
- 製品の燃焼部分の掃除には、ガソリンや可燃性スプレー・液体は使用なさないで下さい。
- 燃焼部分や吸気口を塞いだりしないで下さい。
- ボンベケースの吸気口はいつも掃除し綺麗にしておいてください。
- ヒーターをガスボンベに接続する際は、必ず資格の有るガス供給業者様にご依頼下さい。
- ヒーターを室内に保管する時には、必ずボンベを取り外し元栓を閉めて下さい。
- ヒーターの改造は、製品の安全性を阻害するものです。絶対になさないで下さい。

梱包を開け部品取り出す際には慎重に取り出してください。

### 各部の名称

9. リフレクター

8. バーナースクリーン

7. バーナーベース

6. 器具栓ツマミ

5. 点火ボタン

バーナーユニット

4. センターポール

3. ボンベケース

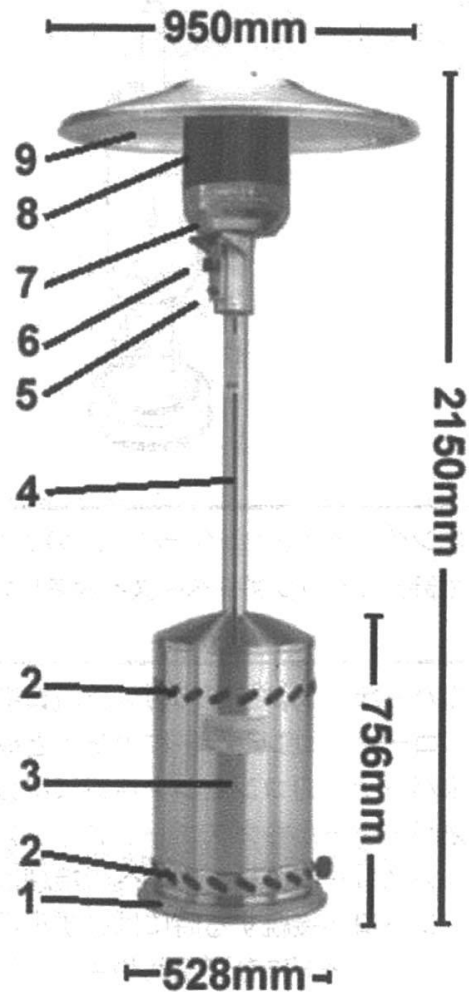
2. 吸気口

1. シリンダーベース

組立に必要な工具

○10mmレンチと13mmレンチまたはスパナ

○プラスドライバー



# パティオヒーターの組立方

- ・ガスパティオヒーターはお客さまに組立をして頂きます。
- ・説明書の順番で組み立てて約10分で組み立てられます。

【お届けは2個口になります】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

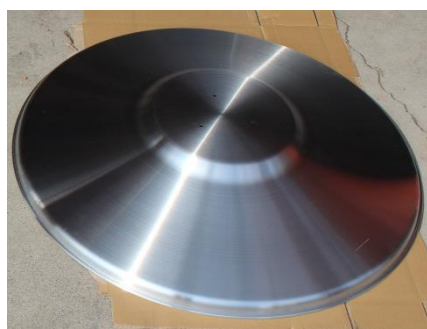


リフレクター（パラソル部分）が入っている箱です。



ヒーター部分やガスボンベケースやネジが入っている箱です。

【部品名称】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



【リフレクター（パラソ）



【バーナー】



【センターポール】



【ガスボンベケース】



【ベース】



【ガスコード】

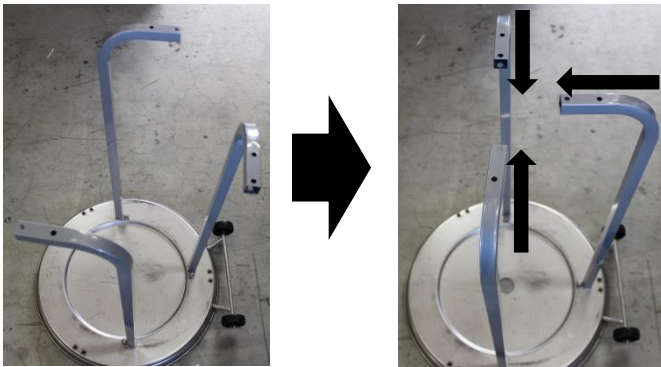


## ① 「ベース」と「支柱」を固定します。



-用意する部品-

- ベース（支柱は付けた状態でお届けとなります。）



- 左の写真のようにベースについている支柱の向きを変えてください。



- ベースに支柱を3本取り付けたらレンチを使い、しっかりとビスを締めてください。

## ② 「支柱」と「センターポール」を固定します



-用意-する部品-

- センターポール
- ボルト（6個）
- ナット（6個）





- センターポール支柱の穴を合わせ、ボルトとナットを使用し固定してください。  
6箇所固定します。



- 支柱にセンターポールがいたらレンチを使い、しっかりとナットを締めてください。



③ 「ガスボンベケース」をセットします。



- 用意する部品-
- ガスボンベケース



- ガスボンベケースをセンターポールの上から通して、静かにベースへ降ろしてください。



## ④ 「バーナー」と「リフレクター（パラソル部分）」を固定します。



-用意する部品-

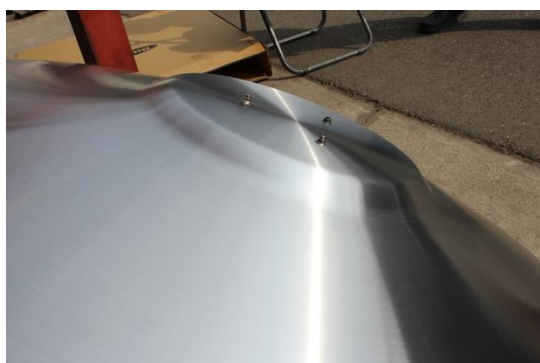
- バーナー（ガスコードを接続しておいてください。  
細い方がバーナー接続口になります。太い方は  
ガスボンベ接続口になります。）
- リフレクター（パラソル部分）
- ナット（3個）
- ワッシャー（6個）



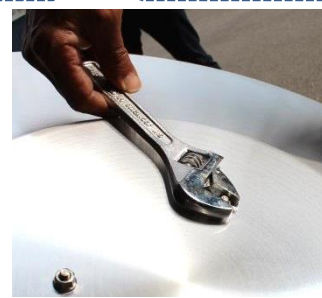
- バーナー上部のボルト（3箇所）にワッシャーを通し、リフレクター被せます。



- ボルト部分（3箇所）をワッシャーとナットで固定します。



- レンチを使い、しっかりとナットを締めてください。



⑤ 「本体部分」と「リフレクター部分」を固定して完成です。



-用意する部品-

- 本体部分
- リフレクター・バーナー部分
- ビス（4個）



- センターポールの上からガスコードを通します。

リフレクター・バーナー部分は重たくなっていますので、充分気をつけてください。



- センターポールとバーナー部分のネジ穴を合わせ、ビスで（4箇所）固定します。

ビスはレンチを使用し、しっかりと締めてください。



- 設置は完了となります。

## ガスの設置について



- プロパンガスは「ガスボンベケース」を持ち上げ中に設置をします。

- ガスの設置はガス屋さんにプロパンガス 10 キロ以下を注文して接続してもらってください。「両端迅速

継手付きガスコード」がついてますので、ガスボンベに調整機と対応するコックをつけて接続してください」と頼んでください。



「両端迅速継手付きガスコード」



この商品とガスボンベの接続及び交換は必ず資格を持つガス供給業者にご依頼ください。

## 移動方法について

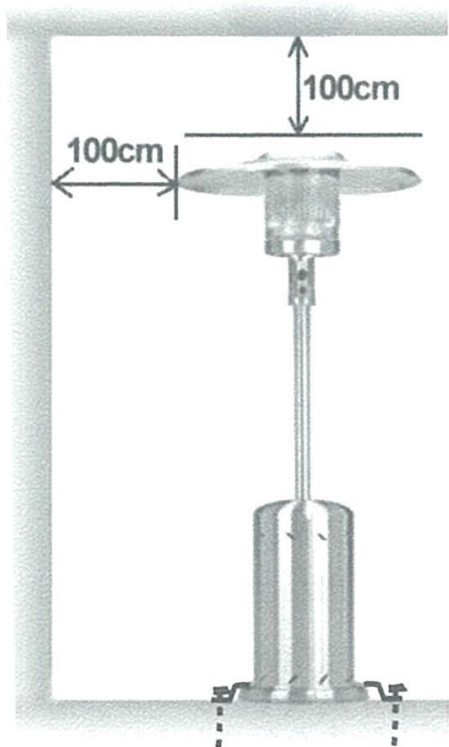


- 車輪がついていますので、移動時は傾けて移動をしてください。

重たいので気をつけてくださいね。



## 設置の仕方



この製品は屋外でのみご使用ください。

周囲に可燃性の壁や天井がある場合には、リフレクター外周からの壁・天井との間隔は最低100cm以上離して下さい。但し壁面材質によりましては異なりますので、じゅうぶん注意をしてご確認願います。）

設置される床面は必ず平らで水平な場所に設置して下さい。

本製品は国内技術基準に従い20度に傾けても倒れないようにウェイトランサーをシリンダーベースに取り付けてありますが、強風等の外的要因または人的要因からの転倒防止を保証するものではありません。

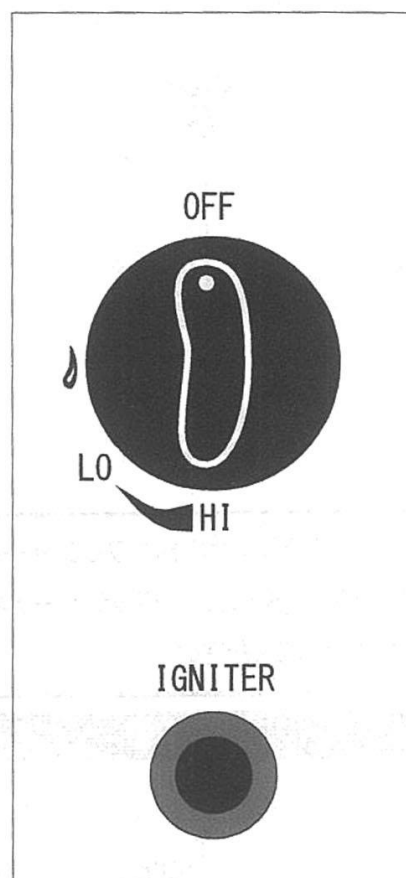
本製品には転倒防止用補強金具は付属しておりません。必要に応じてご用意ください。尚、強風時には本製品をご使用なさらずに安全な場所へ移動させてください。

## 商用・公共利用での操作

不特定多数の人達が入り出りする場所にてこの製品をご使用される場合には、管理者または取扱い責任者を決めていただき、万が一不慮の天災・事故や製品に異常を感じた時には、直ぐにガスの元栓を閉める事ができるようにお願い致します。

### 点火の操作

1. 器具詮つまみがOFF位置に有るのを確認したらガスポンベの元栓をゆっくりと開けます。
2. 器具詮つまみを押し、反時計回りに回し、器具詮つまみを押したままの状態、点火ボタン (IGNITER) を押し、放電スパークによりバーナーに点火します。
3. 点火を確認したら点火ボタンを離し、器具詮つまみは押したままの状態、10秒保持してから器具詮つまみを離します。
4. 点火ボタンを押し続けても5秒以内に点火しない時、または、器具詮つまみを離すと火が消えてしまう時には、器具詮つまみをOFFの位置に戻し、1分以上待ってから再度2から始めます。
5. 器具詮つまみを反時計回りに回します。



### 消火の操作

1. 消火する時には器具詮つまみを押し、時計回りにOFFの位置まで回して消火を確認してください。
2. ガスの元栓を閉めてください。

※お買上時初めてご使用される時には、LOの位置で最低10分間スクリーンを熱してから、火力をゆっくりと上げてください。

※点火ボタンを押した時に、放電スパークがおこなわれない時にはマッチを使用して点火する事も可能です。

### メンテナンス・清掃

- この製品は常にきれいにすることを心がけてください。
- 修理を必用とする場合には、専門の技術者にご依頼願います。
- 部品交換を必要とする時には、発売元にお申し出下さい。
- メンテナンスの際は、必ず消化後40分以上経過し、じゅうぶんヒーターが冷めている事を確認して下さい。更にガスの元栓は閉めて下さい。
- 清掃をする際、可燃性のもの、腐食を及ぼすクリーナーはご使用なさないで下さい。
- この製品は、ステンレスが使用されています。ステンレスは、塩化物と硫化物の作用を受けて酸化したり錆びたりする傾向があります。特に沿岸地域や、プール、温水浴槽の近くではご注意願います。この為、錆の着色防止と除去をおこなうには、3-4週間おきに真水で洗うか、ステンレス専用クリーナーをご使用下さい。但しバーナーユニット内には水を掛けないで下さい。
- この製品の表面をきれいにするには、ぬるま湯で溶いた中性洗剤をご使用願います。絶対に研磨クリーナーやスチールウールはご使用なさないで下さい。洗浄後、再度真水で洗い流し拭き取って乾燥させてください。



○製品ご使用前には必ず接続ネジの弛みを点検してください。急激な温度変化により製品接続箇所が弛む場合がございます。その際ドライバーを使用して軽く増し締めして下さい。

○リフレクターの接続ネジが弛みますと夜露や雨水がバーナーに侵入し不具合の原因となりますので、定期的に弛みがないか確認してください。

○ステンレス部分は通常熱せられると、金色または茶色に変色しますが、製品の性能に影響を及ぼすものではありません。

○製品の換気口が塞がれた状態でない事を常に確認してください。

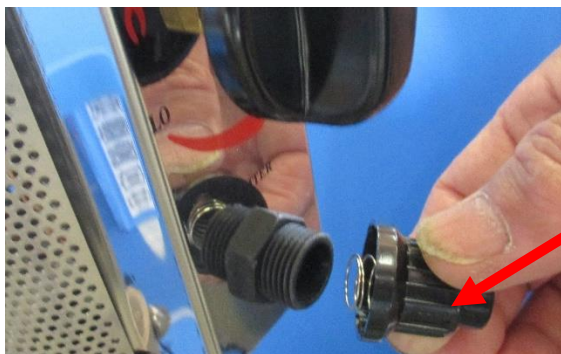
○蜘蛛などの昆虫はガスの臭いを好み集まってくる。バーナー内部に侵入した虫の巣や蜘蛛の巣は、バーナーの不完全燃焼やフラッシュバックを引き起こす事もございます。年に一度はバーナースクリーンを取り外し、バーナー周囲をブラシや掃除機を使用して綺麗にする事を心がけて下さい。

### トラブルシューティング

症状	原因	処置
バーナーが黄色い炎で燃える	虫などの巣がバーナー内部に進入している	スクリーンを外し、バーナー部分を清掃してください。
点火スイッチが点かない	乾電池の消耗または取り付けが間違っている 電極線が弛んでいる 適正な電極間になっていない	新しい乾電池に正しく交換してください。 電気工事の技術者に修理を依頼するか発売元にご相談下さい。
バーナーの火力が弱い (音を出す)	ガス不足 燃焼ホースが折れている ガスノズルが汚れているか詰まっているまたは虫などの巣がバーナー内部に進入している ガス圧力調整器の低流量	ガスボンベの量を確認してください。 折れている箇所を修正してください。 ノズルの清掃または交換が必須ですので、発売元にご相談下さい。 点火の操作を正確に行なってください。ボンベのバルブを開ける時には必ずコントロールバルブは「OFF」の位置になければなりません。圧力を等しく導く為にボンベの栓をゆっくり開けてください。
点火はするが、ツمامミを放すと火が消える	ガス通路に空気が進入している サーモカップルの寿命 電源ケーブル接点不良 電磁弁の損傷	一旦消火し、1分程待ってから再度点火してください。 発売元に修理を依頼してください。

# 点火方法

1. 黒いキャップを廻しキャップを外して、単4電池を入れ、キャップを締めてください。



黒いキャップ

2. 器具詮つまみを押して反時計回りに回し、器具栓つまみを押したままの状態  
で点火ボタン（IGNITER）を押すと放電スパークによりバーナーに点火しま  
す。



器具詮つまみ

点火ボタン

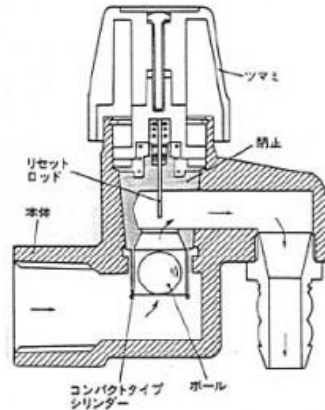
3. 電池がない時の点火方法

チャッカマン、ガスライター、マッチ等で点火可能です。



チャッカマン、ガスライター等

## ●ガスに火がつかない場合は？



お客様が用意したプロパンガスボンベには通常上記の様なガスコックが付いていますが、このガスコックの中には図の様な安全装置が付いています。

(過大な流量のガスが流れるとボールが押し上げられてガスを遮断します。ラムネの瓶のビー玉をイメージしてください)

レンタル頂いた弊社のガス機器に火がつかない場合の多くは、お客様に用意して頂いたプロパンガスボンベの安全装置が働き、ガスが遮断されている状態となっている事が考えられます。

この安全装置は一度プロパンガスボンベのガスコックを閉じる事でリセットされます。ガスホースをガス機器つないでコックを開けても火がつかない場合は

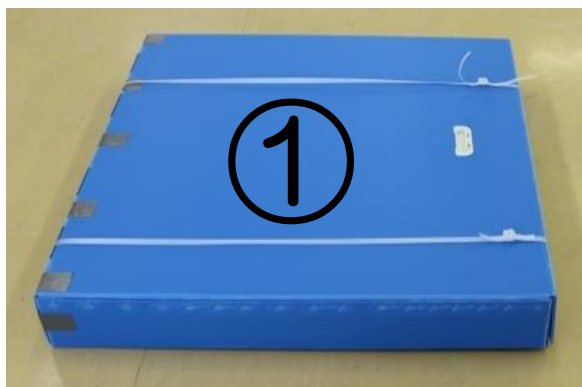
1. 弊社からレンタルしたガス機器のガスコックを一度全部閉じる。
2. プロパンガスボンベのガスコックを一度閉じる
3. 閉じたプロパンガスコックのコックを再び開ける
4. 弊社からレンタルした機器のガスコックを開けて火をつける

上記の順番を試してください。

※ ガス機器のコックを開けたままプロパンガスのガスコックを開けると、抵抗無くガスが流れるためにプロパンガスボンベの安全装置が働きガスを遮断する場合があります。

# パティオヒーターの梱包方法

## ① 返却用の箱を用意してください。



- お届けした際の箱に部品をしまってください。
- 返却時も2個口で梱包をお願いします。
  - ① リフレクター（パラソル）部分を入れる箱。
  - ② ヒーター部分やガスボンベケースやネジが入っている箱。

## ② ヒーターを分解します。



- パティオヒーターは分解をしてから梱包をしてください。



この商品とガスボンベの接続及び交換は必ず資格を持つガス供給業者にご依頼ください。



## ③ 外したボルトやナットは備品袋に入れてください。



- 外したボルトやナットなどの備品は付属の備品袋に入れてください。



【ボルト6本】



【ナット9本】



【ビス4本】

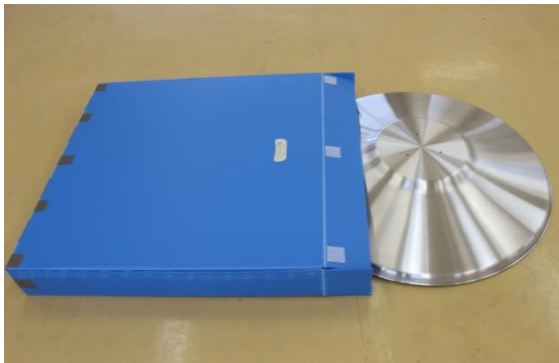


【ガスコード1本】



【レンチ1本】

## ④ 「リフレクター（パラソル）部分」を梱包します。



- ①の箱に「リフレクター（パラソル）」をしまいふたを閉めてください。



- ①の箱の返却用貼り付け位置に「返却用の伝票」を貼って梱包は完了となります。



⑤ その他の部品を梱包します。



- ②の箱を用意します。
- PPバンドを用意し、2本並べて置きます。  
その上に②の箱の底部分を置いてください。

⑥ 「センターポール」「ベース」をしまいます。



- 「センターポール」をいれてください。



- 「ベース」をいれてください。

⑦ 「バーナー」をしまいます。



- 「バーナー」から「ガスコード」を外します。



• バーナーを箱にしまします。



• 箱に入れた「バーナー」をしまします。



• 梱包材をかぶせます。

⑧ 「ガスボンベケース」をしまします。



• 「ガスボンベケース」をかぶせてください。

### ⑨ 「備品」「ガスコード」をしまします。



- 「ガスボンベケース」と「センターポール」の間に梱包材をいれてください。



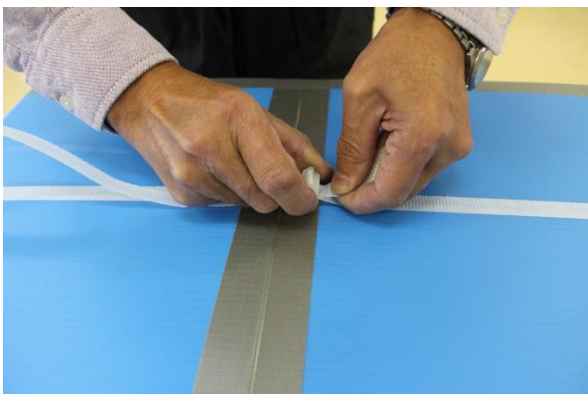
- 「取扱説明書」と「備品袋（ガスコードネジ、ドライバー、スパナを入れてください）」をいれてください。

### ⑩ 箱をかぶせます。



- しまい忘れていたものが無いか確認をし、箱を上からかぶせてください。

### ⑪ 「PPバンド」をとめ、「返却伝票」を貼ります。



- ②の箱にPPバンドをとめます。

PPバンドのとめ方の詳しい説明は次のページにてご確認ください。



- ②の箱の返却用貼り付け位置に「返却用の伝票」を貼って梱包は完了となります。



# 梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



④



⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。

※手順を参考にしても分からない場合は、**緊急連絡先**（080-5643-7181）にご連絡ください。